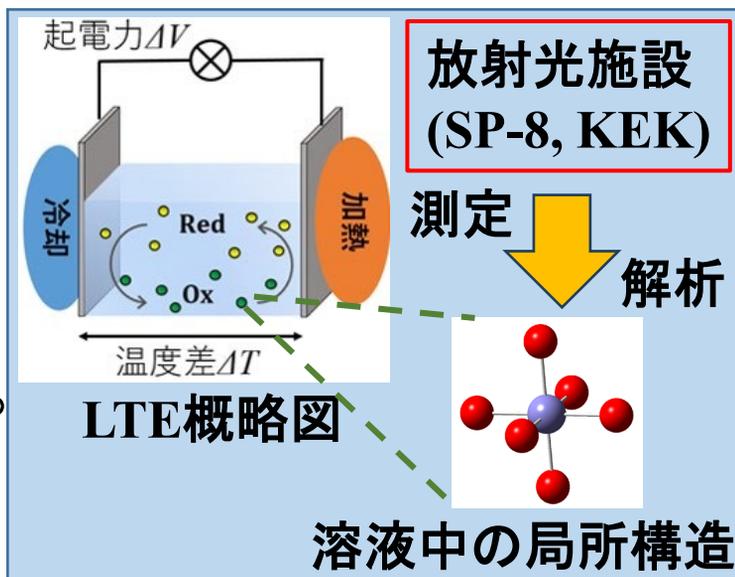


環境熱から電気に変換する、自律型電源の構造解析・開発

近年、環境中に存在するエネルギー(太陽光や熱、風)を利用し、電気エネルギーに変換する技術が盛んに推し進められています(エネルギーハーベスティング)。

電池に似た素子構造をとる、液体熱電変換LTEに着目し、SPRING-8やKEKなどの放射光施設を利用した構造解析や、素子開発を行っています。



キーワード エネルギーハーベスティング、構造解析(X線吸収)

分野 応用物性、熱電変換、放射光、電気化学